

教育実習生の実習前から実習後への教職志望意識の変化に関する調査(1) — 教職志望高グループと低グループとの比較 —

Changes in Motivation toward the Teaching Profession between Pre-and Post-practice Teaching (1) : Comparisons between High and Low Motivation Groups

(2011年3月31日受理)

太田 正清 岡崎 明宏*
Masakiyo Ohta Akihiro Okazaki

Key words : 教育実習の意義, 教職志望, 教職志望意識の変化

要 旨

教育実習生は、今まで大学で教えられる立場から教育を理解していたのに対して、この実習によって教える立場から改めて教育というものを考え直す機会を与えられるのである。教えることは学ぶ事であり、実習生は子ども達を教えることによって、かえって自己の知識や技術の未熟さに気付き、これによってもう一度大学での学習の必要性を強く感ずるようになる。実習生は実習中に先輩である指導教員よりいろいろな指導を受けることにより、教員になるため、または社会人になるための自覚を強く抱くようになる。このように教育実習は、大学生にとって特別な意識を持つ重要な学習活動となってくるのである。また、本研究では特に教職志望意識の意識の低かった学生が実習後には教職志望意識を随分と高めていることにも注目して教育実習研究の充実に活かしたいと考える。

1. 調査の目的

教育実習は、実習生にとっては、これまで大学等で学習・研究してきたことを実習校において、実習を通して厳しく自分に問いかける場であろう。と同時に、教職志望意識を高めていく貴重な場でもであろう。実習生は大学で講義・演習や書物等を通し、教職志望意識を個人差はあるものの各自の内に高めてきたものと思う。

しかし、教職志望意識の度合いは、是が非でも教員採用試験をパスして教職に就きたいという極めて高いものから、採用試験は自分にはとても厳しいだろうから教員を目指すのは止そうかなという意識としては低いレベルのものまである。

ところが、この教職志望意識の低かった学生が教育実習という場を経験することで俄然教職志望意識を高め、どうしても教職に就きたいと強くその意識を転換していくことがしばしばある。

この研究では、平成22年度に教育実習を行った本学子ども学科3・4年生と美作大学生生活科学部児童学科3年生54名について、教育実習開始前の調査よりQ1.の質問に対して『⑤どうしても教職に就きたい』『④できれば教職に就きたい』と回答した学生をグループ1(教職志望高グループ39名)と『③よくわからない』『②できれば教職以外の職に就きたい』『①教職以外の職に就きたい』と回答した学生をグループ2(教職志望低グループ15名)に分け、両グループに関して実習前から実習後への教職志望意識の変化を比較することにした。

また、実習前アンケートでは『教育実習で楽しみにしていること』(3点以内)、『教育実習で不安に思っていること』(3点以内)、実習後アンケートでは『教育実習で成果があったこと』(3点以内)、『教育実習で課題として残ったこと』(3点以内)を記述方式で尋ねた。この結果についても分析、考察を加えてみたい。

*美作大学

2. 調査の方法

調査期日

中国学園大学

前調査…2010年5月12日

後調査…2010年6月23日

美作大学

前調査…2010年9月25日

後調査…2010年11月30日

調査人数

中国学園大学…18名

美作大学…36名

調査表

記名方式, 主として選択技法

3. 調査の実際と結果

Q1. 卒業後の教員採用試験に対するあなたの現在の気持ちに最もぴったりするものはどれでしょうか。次の事項から一つを選び, その番号を○で囲んでください。

- ⑤ どうしても教職に就きたい。
- ④ できれば教職に就きたい。
- ③ よくわからない。
- ② できれば教職以外の職に就きたい。
- ① 教職以外の職に就きたい。

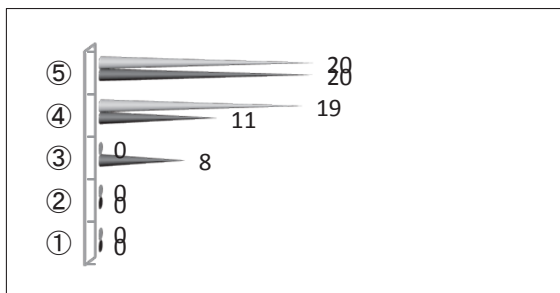


図1 グループ1の実習前から実習後への意識の変化・数字は実数 (■実習前 ■実習後)

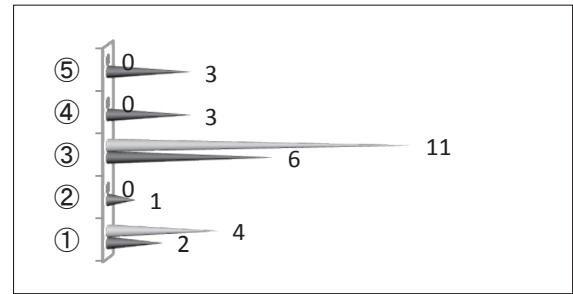


図2 グループ2の実習前から実習後への意識の変化・数字は実数 (■実習前 ■実習後)

グループ1に関しては, 実習前には『どうしても教職に就きたい』『できれば教職に就きたい』で全員であったものが, 実習後『よくわからない』と回答した学生が8名いて, 教職に就きたいという意識はやや後退した。

一方, グループ2に関しては, 実習前には, 『どうしても教職に就きたい』『できれば教職に就きたい』が皆無であったものが, 実習後には『どうしても教職に就きたい』と回答した学生が3名, 『できれば教職に就きたい』と回答した学生が3名いて, 教職に就きたいという意識は随分と高まった。

Q2. あなたは教員として仕事をうまくやっていますか。だけの能力があると思いますか。

- ⑤ とてもそう思う。
- ④ まあそう思う。
- ③ どちらともいえない。
- ② まあそう思わない。
- ① とてもそう思わない。

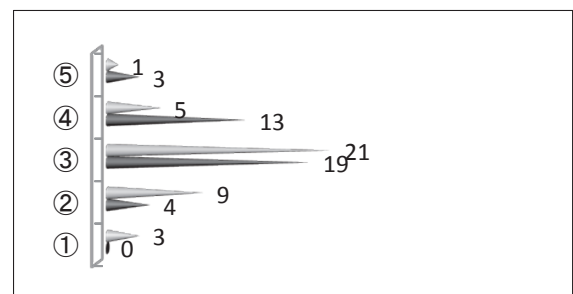


図3 グループ1の実習前から実習後への意識の変化・数字は実数 (■実習前 ■実習後)

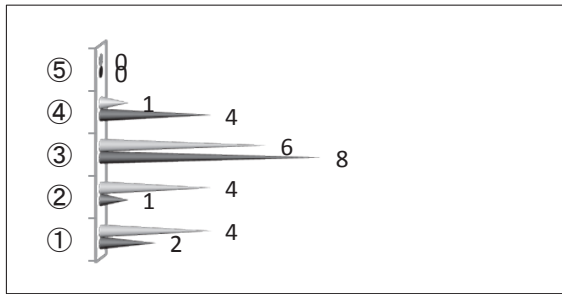


図4 グループ2の実習前から実習後への意識の変化・数字は実数（■実習前■実習後）

グループ1に関しては、実習前『とてもそう思う』1名であった学生が実習後には3名、実習前『まあそう思う』の5名が実習後には13名と大幅に増加した。グループ2に関しては、実習前『まあそう思う』が1名であったが、実習後には4名へとかなり増加した。

Q3. あなたは教員として仕事をやっていけるだけの体力があると思いますか。

- ⑤ とてもそう思う。
- ④ まあそう思う。
- ③ どちらともいえない。
- ② まあそう思わない。
- ① とてもそう思わない。

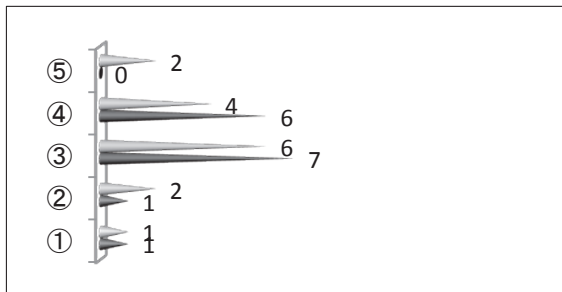
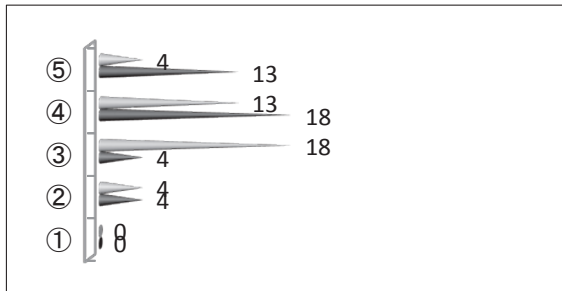


図5 グループ1（上図）・2（下図）の実習前から実習後への意識の変化・数字は実数（■実習前■実習後）

グループ1に関しては、実習前『とてもそう思う』4名であったが実習後には13名へ、『まあそう思う』13名であったものが18名へとかなり増加した。グループ2に関しては、実習前『とてもそう思う』2名が実習後には0名となった。また実習前『まあそう思う』の4名は実習後には6名へと増加した。

Q4. あなたは、子どもの親などと子どもの様子や問題について話し合うことは得意ですか。

- ⑤ とてもそう思う。
- ④ まあそう思う。
- ③ どちらともいえない。
- ② まあそう思わない。
- ① とてもそう思わない。

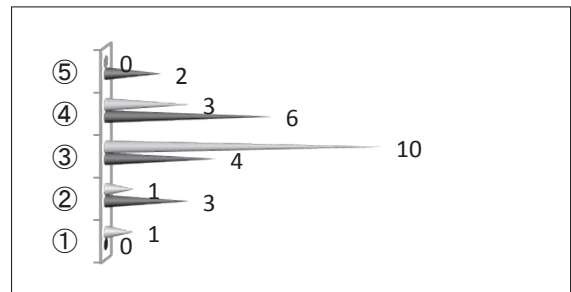
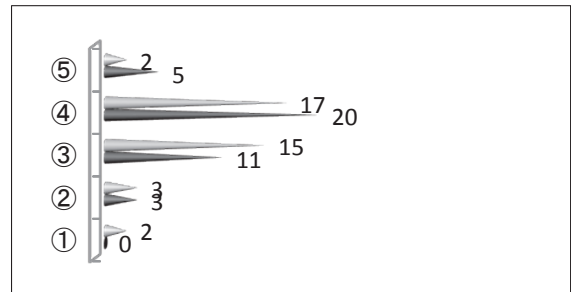


図6 グループ1（上図）・2（下図）の実習前から実習後への意識の変化・数字は実数（■実習前■実習後）

グループ1に関しては、実習前『とてもそう思う』2名であった学生が実習後には5名、実習前『まあそう思う』の17名が実習後には20名と増加した。グループ2に関しては、実習前『とてもそう思う』0名であった学生が実習後には2名、実習前『まあそう思う』が3名であったが、実習後6名へと大幅に増加した。

Q5. あなたは、教育の問題について科学的に研究することが好きですか。

- ⑤ とてもそう思う。
- ④ まあそう思う。
- ③ どちらともいえない。
- ② まあそう思わない。
- ① とてもそう思わない。

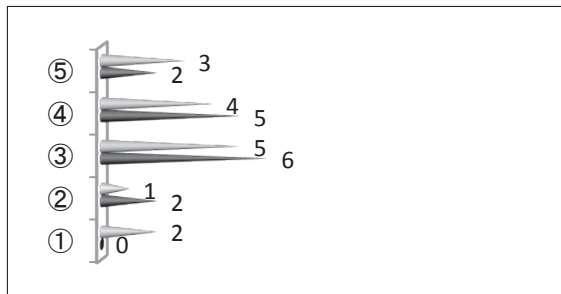
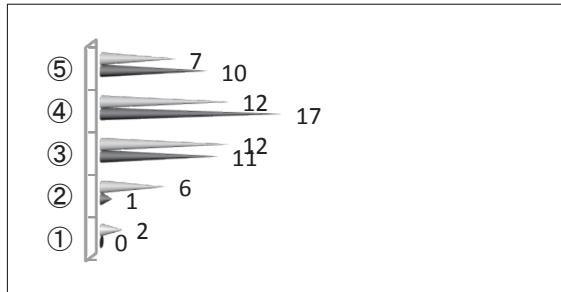


図7 グループ1（上図）・2（下図）の実習前から実習後への意識の変化・数字は実数（■実習前■実習後）

グループ1に関しては、実習前『とてもそう思う』7名であった学生が実習後には10名、実習前『まあそう思う』の12名が実習後には17名とかなり増加した。グループ2に関しては、実習前『とてもそう思う』3名であった学生が実習後には2名、実習前『まあそう思う』が4名であったが、実習後5名へとなり、『とてもそう思う』『まあそう思う』で見ると増減はほとんどないといえよう。

Q6. あなたは、自分の性格が教員に向いていると思いますか。

- ⑤ とてもそう思う。
- ④ まあそう思う。
- ③ どちらともいえない。
- ② まあそう思わない。
- ① とてもそう思わない。

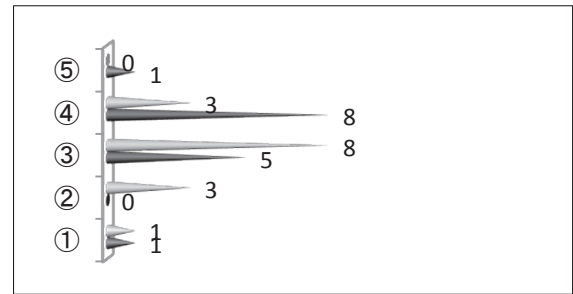
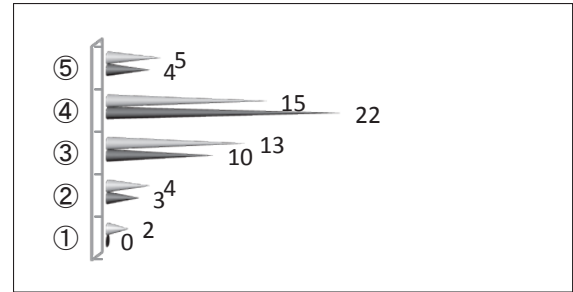


図8 グループ1（上図）・2（下図）の実習前から実習後への意識の変化・数字は実数（■実習前■実習後）

グループ1に関しては、実習前『とてもそう思う』5名であった学生が実習後には4名、実習前『まあそう思う』の15名が実習後には22名と増加した。グループ2に関しては、実習前『とてもそう思う』0名であった学生が実習後には1名、実習前『まあそう思う』が3名であったが、実習後8名へと大幅に増加した。

Q7. 教育実習は、教員になろうとする人にとって、教育に対する心構えや、児童に対する理解の基礎を与えてくれるという点で有意義である。

- ⑤ とてもそう思う。
- ④ まあそう思う。
- ③ どちらともいえない。
- ② まあそう思わない。
- ① とてもそう思わない。

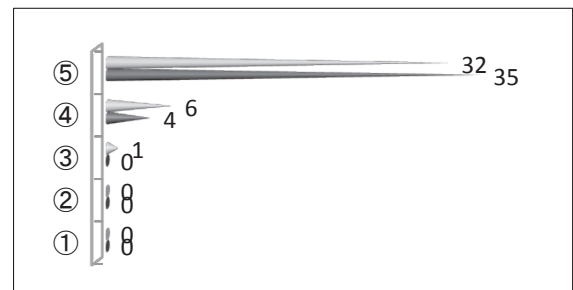


図9 グループ1の実習前から実習後への意識の変化・数字は実数（■実習前■実習後）

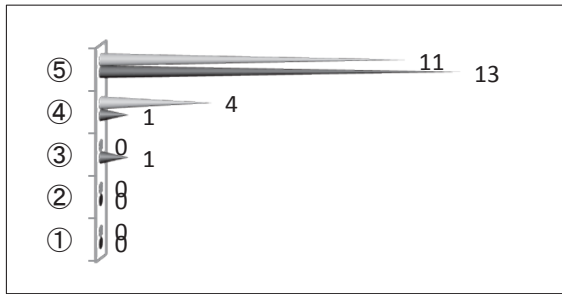


図10 グループ2の実習前から実習後への意識の変化・数字は実数（■実習前■実習後）

グループ1に関しては、実習前『とてもそう思う』と殆どの学生（32名）が教育実習の意義を認めていたが実習後にはさらに増加して35名となった。グループ2に関しては、実習前『とてもそう思う』と半数以上がその意義を認識していたが、実習後にはさらに増加して13名の学生となった。

Q 8. 教育実習は、学生が大学に戻ってからの学習や研究の方向を明確にするために必要である。

- ⑤ とてもそう思う。
- ④ まあそう思う。
- ③ どちらともいえない。
- ② まあそう思わない。
- ① とてもそう思わない。

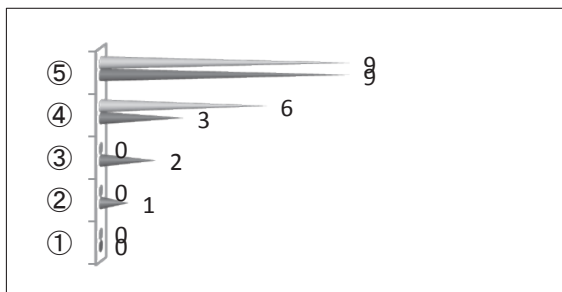
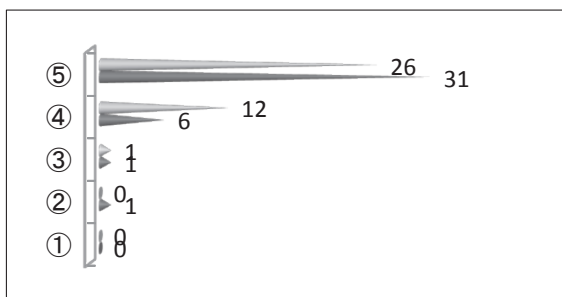


図11 グループ1（上図）・2（下図）の実習前から実習後への意識の変化・数字は実数（■実習前■実習後）

Q 8. 教育実習は、学生が大学に戻ってからの学習や研究の方向を明確にするために必要である。

- ⑤ とてもそう思う。
- ④ まあそう思う。
- ③ どちらともいえない。
- ② まあそう思わない。
- ① とてもそう思わない。

グループ1に関しては、実習前『とてもそう思う』と26名であったが、実習後にはさらに増加して31名となった。グループ2に関しては、実習前『とてもそう思う』は9名であった。そして実習後も9名と変化はなかった。

Q 9. 教育実習は、教職に対する自分の適性を見出すうえで有意義である。

- ⑤ とてもそう思う。
- ④ まあそう思う。
- ③ どちらともいえない。
- ② まあそう思わない。
- ① とてもそう思わない。

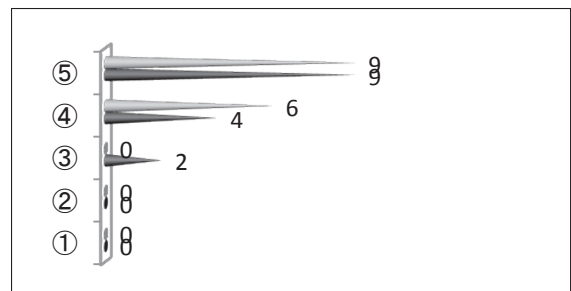
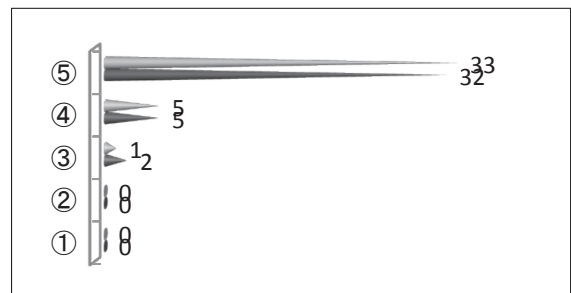


図12 グループ1（上図）・2（下図）の実習前から実習後への意識の変化・数字は実数（■実習前■実習後）

グループ1に関しては、実習前『とてもそう思う』と33名であったが、実習後には1名減じて32名となった。グループ2に関しては、実習前『とてもそう思う』は9

名であった。そして実習後も9名と変化はなかった。

Q10. 教育実習の期間が4週間というのは短いと思う。

- ⑤ とてもそう思う。
- ④ まあそう思う。
- ③ どちらともいえない。
- ② まあそう思わない。
- ① とてもそう思わない。

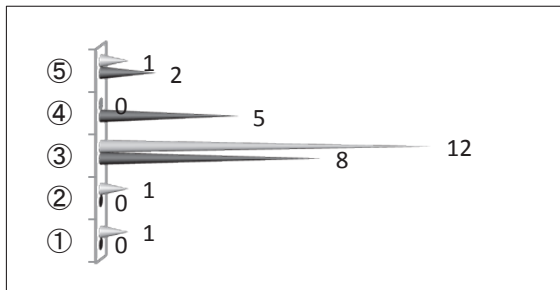
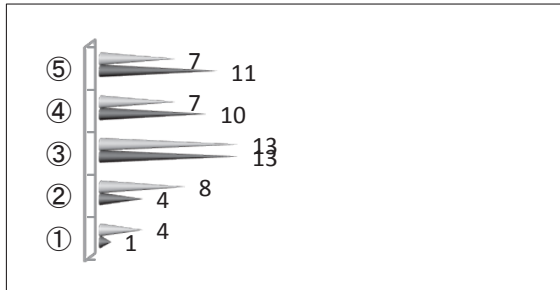


図13 グループ1（上図）・2（下図）の実習前から実習後への意識の変化・数字は実数（■実習前 ■実習後）

グループ1に関しては、実習前『とてもそう思う』7名であった学生が実習後には11名、実習前『まあそう思う』の7名が実習後には10名と増加した。グループ2に関しては、実習前『とてもそう思う』1名であった学生が実習後には2名、実習前『まあそう思う』が0名であったが、実習後5名へと大幅に増加した。

Q11. 子ども達との生活は楽しいものである。

- ⑤ とてもそう思う。
- ④ まあそう思う。
- ③ どちらともいえない。
- ② まあそう思わない。
- ① とてもそう思わない。

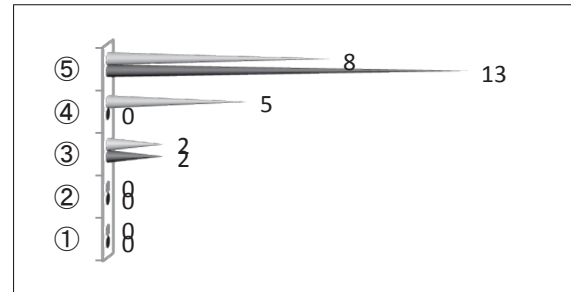
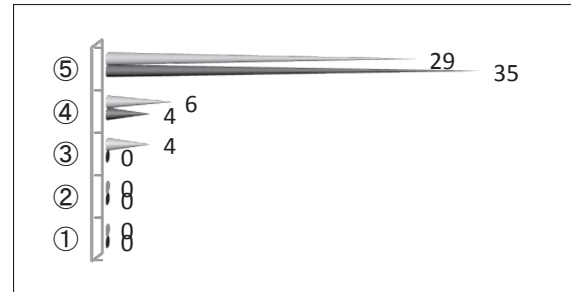


図14 グループ1（上図）・2（下図）の実習前から実習後への意識の変化・数字は実数（■実習前 ■実習後）

グループ1に関しては、実習前『とてもそう思う』と29名であったが、実習後にはさらに増加して35名となった。グループ2に関しては、実習前『とてもそう思う』は8名であった。そして実習後は13名とかなり増加した。

Q12. 授業を有意義に進めることができる。

- ⑤ とてもそう思う。
- ④ まあそう思う。
- ③ どちらともいえない。
- ② まあそう思わない。
- ① とてもそう思わない。

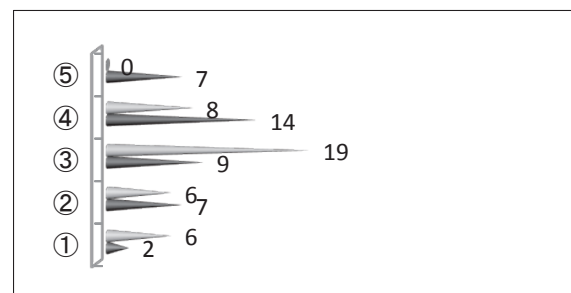


図15 グループ1の実習前から実習後への意識の変化・数字は実数（■実習前 ■実習後）

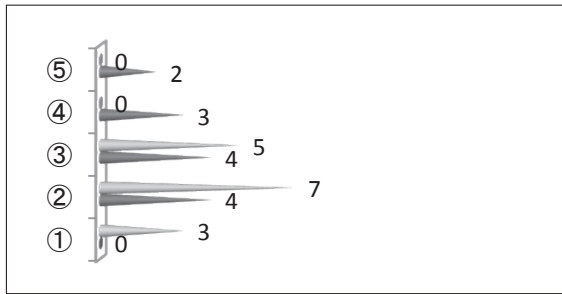


図16 グループ2の実習前から実習後への意識の変化・数字は実数（■実習前■実習後）

グループ1に関しては、実習前『とてもそう思う』0名であった学生が実習後には7名、実習前『まあそう思う』の8名が実習後には14名と大幅に増加した。グループ2に関しては、実習前『とてもそう思う』0名であった学生が実習後には2名、実習前『まあそう思う』が0名であったが、実習後3名へとこれまた増加した。

Q13. クラスのひとりひとりの児童を理解できる。

- ⑤ とてもそう思う。
- ④ まあそう思う。
- ③ どちらともいえない。
- ② まあそう思わない。
- ① とてもそう思わない。

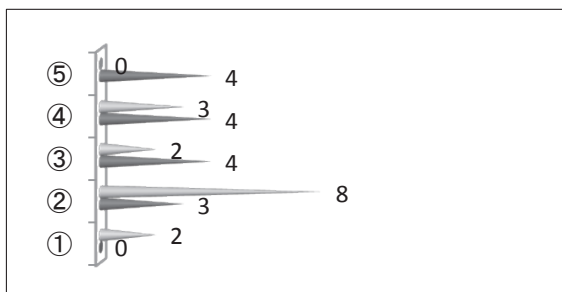
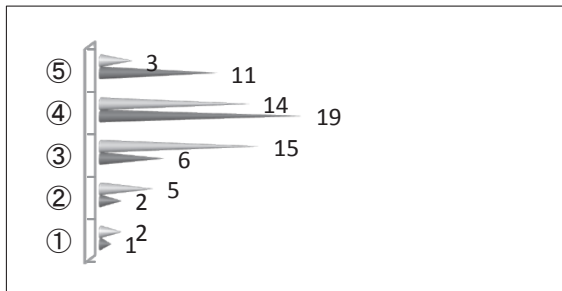


図17 グループ1（上図）・2（下図）の実習前から実習後への意識の変化・数字は実数（■実習前■実習後）

グループ1に関しては、実習前『とてもそう思う』3名であった学生が実習後には11名、実習前『まあそう思う』の14名が実習後には19名と大幅に増加した。グループ2に関しては、実習前『とてもそう思う』0名であった学生が実習後には4名、実習前『まあそう思う』が3名であったが、実習後4名へとこれまた増加した。

Q14. 教職実習が終わっても、またそのクラスに実習に行きたいと思う。

- ⑤ とてもそう思う。
- ④ まあそう思う。
- ③ どちらともいえない。
- ② まあそう思わない。
- ① とてもそう思わない。

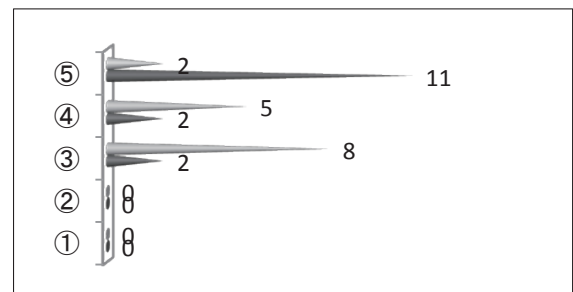
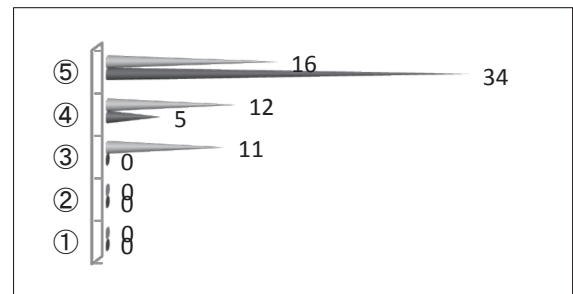


図18 グループ1（上図）・2（下図）の実習前から実習後への意識の変化・数字は実数（■実習前■実習後）

グループ1に関しては、実習前『とてもそう思う』と16名であったが、実習後には大幅に増加して34名となった。グループ2に関しては、実習前『とてもそう思う』は2名であったが、実習後は11名と大幅に増加した。

4. 記述式調査の実際と結果

Q15-1. 教育実習前に教育実習で「楽しみにしていることを3点以内で記述してください」と質問し、書かれ

た回答を次の5項目に分類してみた。

- ⑤ 児童理解・指導
- ④ 教職の魅力
- ③ 授業・研究授業・指導案作成
- ② 学校の実態の理解
- ① 自身の成長

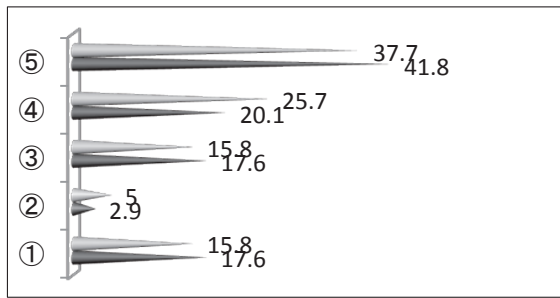


図19 グループ1 (■)・2 (■)の実習前の教育実習での楽しみ・数字は%

児童の理解・指導が楽しみと回答した割合が多かったのはグループ2であった。教職の魅力と回答した割合が多かったのはグループ1であった。

Q15-2. 教育実習前に教育実習で「不安に思っていることを3点以内で記述してください」と質問し、書かれた回答を次の5項目に分類してみた。

- ⑤ 授業・研究授業・指導案作成
- ④ 児童理解・指導
- ③ 教職への適性
- ② 体調管理
- ① 自身の成長

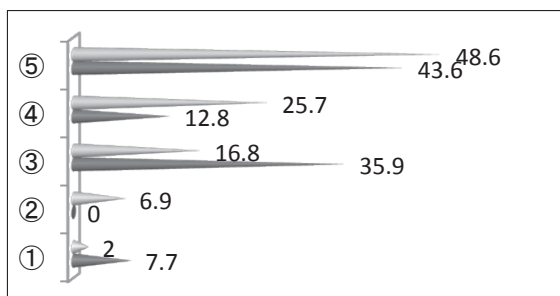


図20 グループ1 (■)・2 (■)の実習前の教育実習での不安・数字は%

授業が不安と回答したのは、グループ1では48.6%、グループ2では43.6%であり、この質問の中では両グ

ループとも高い比率となった。児童の理解・指導ではグループ1，教職への適性ではグループ2の方が比率は高かった。

Q16-1. 教育実習後に教育実習で「成果であったことを3点以内で記述してください」と質問し、書かれた回答を次の5項目に分類してみた。

- ⑤ 児童理解・指導
- ④ 教職の魅力
- ③ 授業・研究授業・指導案作成
- ② 学校の実態の理解
- ① 自身の成長

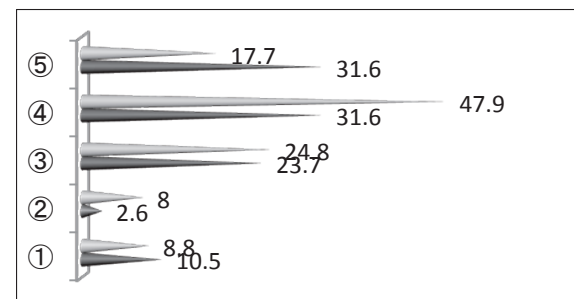


図21 グループ1 (■)・2 (■)の実習後の教育実習での成果・数字は%

教職の魅力と回答した割合が多かったのはグループ1である47.9%にもなった。

Q16-2. 教育実習後に教育実習での「課題であると思っていることを3点以内で記述してください」と質問し、書かれた回答を次の5項目に分類してみた。

- ⑤ 授業・研究授業・指導案作成
- ④ 児童理解・指導
- ③ 教職への適性
- ② 体調管理
- ① 自身の成長

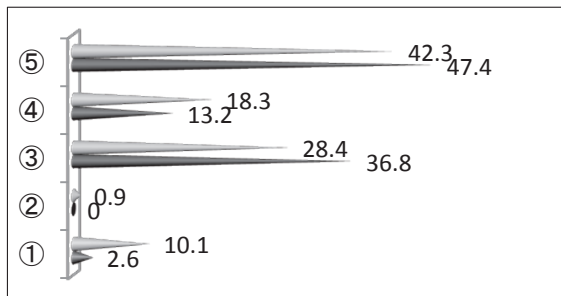


図22 グループ1 (■)・2 (■)の実習後の教育実習での課題・数字は%

授業・研究授業・指導案作成は両グループとも課題としてあげた比率が高かった。グループ1は42.3%, グループ2は47.4%であった。また、教職への適性をかなり気にしていたグループ2であり、36.8%にものぼった。

5. 考 察

予想通り、教職志望低グループ(グループ2)の中に教育実習終了後、教職志望を大幅に高めた学生がいた。

また、両グループとも教育実習終了後の最大の課題は小学校での授業や指導案作成等であった。

やはり、学生が教育実習に行くまでに、教育実習研究とか教育実習事前指導等において不安を取り除いておき、教育実習終了後には教職の魅力を十分に感じ取ることができるようにしたいと考える。

参 考 文 献

方川淳・太田正清『教育実習生の実習前から実習後への教職志望意識の変化に関する調査－教職志望高グループと低グループとの比較－』ノートルダム清心女子大学紀要(生活経営学・児童学・食品栄養学編)第24巻第1号(通巻45号) pp. 140-151. (2000)

伊丹俊之『教育実習研究－教育実習事前事後指導の探求－』西日本法規出版(1996)

木下法也『〈初等・中等学校用〉教育実習の手引』学文社(1980)

教育実習研究会『教育実習ハンドブック』酒井書店・育英堂(1980)

日本教育大学協会第三部会『教育実習の研究改訂版』学

芸図書株式会社(1980)

有吉英樹・長澤憲保『教育実習の新たな展開』ミネルヴァ書房(2001)

